



建築技術職

【採用】
令和4年度 経験者2級職(建築技術)
【所属】
荒川区営繕課
【前職】
民間企業(建築系) 5年勤務

Q1. 民間企業から公務員に転職しようと思った理由やきっかけについて教えてください。

私が公務員に転職しようと思ったのは、某ターミナル駅の再開発後の街並みに感動した経験から、自身も人々を感動させられるような大規模な再開発に携わりたいと思ったからです。

前職では一つの建物内の改修工事を主に行っていました。工事後、利用者の方には感謝されるものの、物足りなさを感じていました。この経験から、利用される方、住民の方など、仕事によってより多くの人々に関わることでできる公務員に魅力を感じ、転職を決意しました。

Q2. 特別区(荒川区)を志望した理由を教えてください。

前職で上京し、職場及び住居が特別区だったこともあり、慣れ親しんだ街であったこと、また、その街の都市計画・まちづくりに携わりたいと思ったからです。

Q3. 前職はどのような仕事をしていましたか。

また、前職との違いはありますか。

前職は元請として建築工事の施工管理業務を行っていました。

民間では受注者側、現職では発注者側という立場の違いがあり、業務についても工事現場管理と設計者・工事監督員という違いがあります。

Q4. 今の仕事内容を教えてください。

また、今の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

現在の業務は主に区有施設の改修工事に伴う設計及び工事監理業務を行っています。

自ら設計して図面を描いたものが、実際に工事を行うことで形になることにやりがいを感じています。

Q5. 入区後に前職の経験や知識が生きた場面があれば教えてください。

前職で取得した建築系の資格は、知識としてそのまま反映されるので役に立ちました。
また、施設管理者への説明や工事事業者との打合せ等、コミュニケーション力が重要となるため、前職でも行っていた対話力というのは入区後も生きています。

Q6. 職場はどのような雰囲気ですか。

とても温かい雰囲気です。
周りの方々は自身の業務が忙しい中でも質問事項について親身に対応してくれます。

Q7. 荒川区に入ってよかったことを教えてください。

職員向けの研修内容が豊富なところです。
経験者採用で入区しても、社会人としての基本的な研修や、自主的に選択できる研修を受講できたりと、一人一人の能力を伸ばすための研修プログラムが構築されているため、入区後も高い職務意欲をもって活動できることです。

Q8. 休日や退庁後の過ごし方について教えてください。

退庁後は、身体を動かすことが好きなのでランニングをしたり、ジムへ行って体を鍛えたりしています。
休日は、有給休暇を計画的に取得して連休をとり、国内旅行へ行っています。

Q9. 経験者採用での就職を考えている方にメッセージをお願いします。

働きながらの受験は準備の時間を作るのも難しく、思い通りに進まないこともあると思います。実際に私も休日はほぼ試験対策をしていました。
根気よく続けられたのも、今後やりたいことが公務員で実現できる、という強い思いがあったからだと思います。計画的に最後まで諦めずに頑張ってください。